下榎交流センターだより

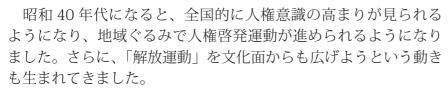
編集 日野町下榎交流センター

〒 689 - 4526 日野町下榎 157 番地 1 電話:72-1191 (FAX 兼)

E-mail: rinpokan@town.tottori-hino.lg.jp

日野町解放文化祭の役割について

今年で第48回を迎える日野町解放文化祭、 今回は、この解放文化祭の役割についてあら ためて考えてみたいと思います。



日野町においても昭和53年に「部落解放」と「人権が尊重さ れ差別のない社会づくり」をめざし、町民がお互いの理解と交流 を深める場として第1回日野町解放文化祭が開催されました。

当初は、町内の人権教育推進委員会や下榎自治会が中心となり 講演や映画上映、作品展示などを行う小規模な集まりでした。し かし、年を追うごとに学校や各団体、他地区自治会、行政が協力



▲昔の解放文化祭での展示

して開催するようになり、町民全体の行事へと発展していきました。そして、他地区の自治会がその地域の伝 統的な祭りを紹介したり、小中学生が学習の成果を発表したり、人権劇を演じたりと、子どもから大人まで人 権を楽しく学び、交流する場となりました。

【昔の解放文化祭での展示】



現在は、社会情勢の変化により舞台での発表はほとんど行 われなくなりましたが、参加者が人権について考えるきっか けになるようにと、みんなで参加できるゲームやイベントを 企画し毎年秋に開催しています。半世紀以上にわたる日野町 の人権啓発の歴史を受け継ぎ、地域の絆を深める大切な行事 となっています。

今年は、どんな出会いがあり、どんなドラマが生まれたの でしょうか。

◀昔の解放文化祭の様子

~ 12 月の行事~

学習講座

◆クラフト教室 12月5日(金) 13:00~16:00

◆書道教室 12月13日 (土)13:00~16:00

◆生け花教室 12月27日(土)13:00~16:00

健康教室

◆会場 / 老人憩の家

日時 /12 月 11 日 (木) 13:30~15:00





第10回 「晩秋の装い」

文:町教育委員会事務局

一房も灯油やガスが普及 かありませんでした。 では輸送機が食料 が、いまは見なく た様子は冬の風 は厳し年前 その確保 和38年

冬支度を考える時季でしょ 寒くなってきましたね

なものと否定せず、・いですが、一概に非 消えてしまったことが多 人生の

しきたりを重んじる意 計画的に準備したも 今でも年末年始 縁起を担の



▲軒先に揺れる干し柿が、冬の訪れを告げます。

~こんにちは、消費生活相談員です~ 知って安心!消費生活のはな



太陽光発電システムの点検商法が急増!

「点検が義務化された」などと言わ れても、安易に契約せず、まずは 点検の要否を確認しましょう。

《こんな話が・・・》

事業者が自宅にやって来て、「太陽光発電設備の点検が義務付けられている」と言う。 事業者から4年に1度点検するように言われ、アンケートの記入を求められた。突然の 訪問で、会社名も名乗らず、説明も納得できなかったのでアンケートも断った。今まで 点検してこなかったが、点検は義務化されたのか。 (70歳代 男性)



〈アドバイス〉

○太陽光発電システムは、再エネ特措法等の関係法令に沿って適切に維持管理することが求められますが、 点検義務の対象になるかは、再エネ特措法に基づく FIT 制度・FIP 制度の利用の有無や出力等により異な ります。太陽光発電システムを効率的に、また安全に利用するためには、定期的な点検を行うことが重要 ですが、「点検が義務化された」など契約を迫るセールストークには十分注意してください。

○事業者から「点検が義務化された」などと言われても安易に契約せず、まずは点検の要否を確認しましょ う。よくわからない場合には、太陽光発電システムの設置事業者に相談しましょう。

○太陽光発電システムの点検やメンテナンスの契約をする場合は、その場で契約せずに複数社 「国民生活センター広報資料」より

日野郡 3 町では、第 1・2・3 水曜日に相談員が輪番で対応しています。(くらしのカレンダー参照) ★相談は、消費生活相談窓口(役場産業振興課内)(電話 72-0336 または局番なしの 188)へ!